



# 図書館だより



NO.3

2009/06/01

ノートルダム学院小学校図書館

## － 雨の日はじっくり読書 －

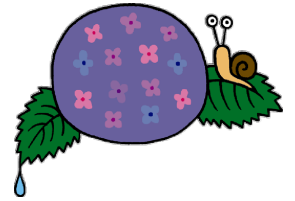
雨がふるとき、  
すきな遊びができぬとき、  
こどもよ、書物をお読みなさい。

書物はあなたをつれてゆく、  
海山こえていく千里  
知らない国や、とほい国。

見たこともない人たちや、  
また、めづらしい動物が  
あなたと遊び、話す。

書物を読めば、友だちは  
いつも出てくる、眼のまへに。

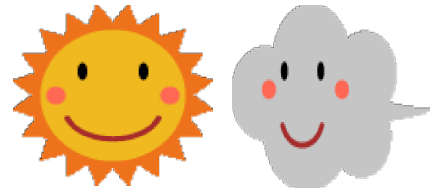
—— 詩「書物」西 條八十



雨の日は外で遊べなくてつまらない！でもそんな日は、朝見つけたカタツムリのことや校庭に咲いている花の名前のこと、不思議に思ったことなどを図書館で調べてみましょう。

6月11日は「学校図書館の日」です。

## － 気象記念日 － 6月1日



1860年のこの日、オランダで世界初めての暴風警報事業が始められました。日本では、1875年(明治8年)のこの日、今の気象庁の前身となる東京気象庁が発足。これが気象記念日のいわれとなりました。また、日本で天気予報が初めて発表されたのも1884年(明治17年)の6月1日でした。「全国一般風の向きは定まりなし、天気は変わりやすし、ただし雨天がち」というのが天気予報の第1号だったそうです。今の天気予報とくらべてみて、どうでしょうか。

### 天気のこと分かる本

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 「気象がわかる絵事典」(日本気象協会著・PHP)  | 「天気100のひみつ」(清水教高著・学習研究社) |
| 「天気の不しぎ」(ふしぎサイエンスⅡ・学習研究社) | 「天気予報の見方・読み方」(ポプラディア53号) |
| 「お天気謎とき大冒険」(河合薫著・講談社)     | 「天気・気象」(学研の図鑑・学習研究社)     |
| 「天気のとてとて」(倉嶋厚著・集英社)       | 「天気・気象」(小学館の学習百科図鑑・小学館)  |
| 「お天気ナビ観察じてん」(武田康男著・大泉書店)  |                          |

## － 第55回青少年読書感想文全国コンクール「課題図書」が決まりました － 《 1・2年生 》

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 「ちょっとまって！きつねさん！」<br>(カトリーン・シェラー著・光村教育図書) | 「おこだでませんように」<br>(くすのきしげのり著・小学館) |
| 「てとてとてとて」(浜田桂子著・福音館書店)                   | 「しっばいにかんぱい！」(宮川ひろ著・童心社)         |

### 《 3・4年生 》

- |                                |                                  |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 「そいつの名前はエメラルド」<br>(竹下文子著・金の星社) | 「しあわせの子犬たち」<br>(メアリー・ラバット著・文研出版) |
| 「風を追いかけて、海へ！」(高森千穂著・国土社)       | 「オランウータンのジプシー」<br>(黒鳥英俊著・ポプラ社)   |

### 《 5・6年生 》

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 「春さんのスケッチブック」(依田逸夫著・汐文社)           | 「ヨハネスブルクへの旅」<br>(ビヴァリー・ナイドゥー著・さ・え・ら書房) |
| 「ぼくの羊をさがして」<br>(ヴァレリー・ハブズ著・あすなる書房) | 「マタギに育てられたクマ」<br>(金治直美著・佼成出版社)         |